



今、近鉄プラザB館の解体工事に伴って、子どもたちの通学路の安全が保てない事態になつていて。「今日も無事に帰つてくるだろうか」と心配する保護者の声が聞こえてくる。

近鉄プラザB館の解体工事が6月1日から始まつて、桔梗が丘西地区から約400人の児童が市立桔梗が丘小学校に通学している。桔梗が丘駅と近鉄プラザA館の歩道を

が6月1日から始まつて、桔梗が丘西地区から約400人の児童が市立桔梗が丘小学校に通学している。桔梗が丘

400人児童の通学路が不安 自治連合協議会らが市に対策要望

ききょう通信

2017年8月(平成29年)

発行 桔梗が丘自治連合協議会
連絡先 桔梗が丘市民センター
TEL 65-1206
FAX 65-1206
Eメール info@kikyogaoka.jp
5,717世帯・13,832人
(2017年7月1日現在)

経て、横断歩道を渡りB館の店舗前を通り学校に向かつていた(左図H29・6月までの通学路参照)。

工事が始まるとB館前の歩道の幅が狭くなり、児童らは身体を接触しながら歩いていた。横断歩道には、歩行者用の

信号機が無く、渡るのを指導するボランティアの方の進め、止まれの掛け声が、児童らを交通事故から守つてきた。

工事の始まる前の5月26日、桔梗が丘自治連合協議会、桔梗が丘小学校、同校PTAの団体が名張市長あてに「近鉄プラザB館取り壊し工事に伴う歩道の安全確保について」の要望書を提出。即答は得られなかつた。

6月17日に要望書を提出した団体と横断歩道の歩行を指導しているスタッフらが、児童の下校時の状況を検証した結果、B館店舗前の歩行を早急に回避し、B館に面するA館前を通る経路(左図①～④)に変更し7月3日から通学している。

しかし不安は残つていて。歩行者専用の信号機の設置、横断歩行の路面標示、B館北東の児童の溜まり場がトラックの出入り口など課題は未解決だ。早急の対策を住民は願つていて。

17人が炎天下で放水訓練

桔梗が丘自治連合協議会・生活安全部会は、地域住民の希望者を募り、7月17日、名張消防署で「消火栓を使った放水訓練」を実施した。

消火栓ホース格納箱は、名張市の自主防災組織育成事業に基づき平成21年から地区内に設置を続け、現在8個所に至っている。平成29年度は4個所に設置する計画で、桔梗が丘では、住民に周知徹底できる公園に設置されている



木造家屋の火災は、出火から20分で全焼に至るといわれている。ホース格納箱は災害時、自主防災隊と消防団が連携して格納箱からホースを出し1秒でも早く消火活動を行うのが目的。

この日の訓練は名張消防署員の指導を受け、最初に消防ホースの伸ばし方、ホースの運搬を学ぶのが目的。

この日の訓練は名張消防署員の指導を受け、最初に消防ホースの伸ばし方、ホースの運搬を行なうのが目的。

結合要領、使用後のホース巻き方など基本を学んだ。続いての放水訓練では、17人の受講者が汗だくで取り組んでいた。

平成29年度桔梗が丘 ほつとまちフェスタ

11月19日(日)

桔梗が丘公園連続講座
催しもの＝健康まつり、こどもの遊び広場、植樹祭、甘酒ふるまい、輪投げ、ダーツ、豚汁、焼きそば、綿菓子、ポップコーン、焼き芋、歌声喫茶、収穫祭、金魚焼き、桔梗が丘高校43年の写真展、足湯、手裏剣投げ

9月2日(土)
囲碁と将棋の例から
人工知能(AI)を考える
A-作家に賞は取れるか?

11月18日(土)
公立はこだて未来大学教授
松原 仁氏

コンピュータが小説を書く日
A-作家に賞は取れるか?
名古屋大学大学院教授
佐藤理史氏

1月28日(日)
人工知能(AI)と医療

～医用画像による

人体の総合理解～

奈良先端科学技術
大学院大学教授

佐藤嘉伸
氏

昆虫・草花の息吹いつぱい
初夏のじきものウオッチング



快適環境部会が6月24日、桔梗の森公園で「初夏のいきものウォッチング」を開催した。20人の自然の愛好家が参加した。市民センターから公園内の2つの池を中心に散策して、講師の近藤善子さんの解説にうなづきながら自然界の散策を楽しんだ。

だ。 楽しめる絶好の機会だそう

同部会は、環境を守る、環境を知るをテーマに「地域の自然を楽しみながら住環境を知り、環境を守ることの大切さを知ろう」の活動を続けている。自然の保護活動について尋ねた。「シャツクリ川のホタルを例に環境を守るについて」

でアサギマダラを桔梗が丘に呼び込むと聞いていますが」キキョウの花については公園内には大きな群落16個所を始め単独の株も多く植栽しています。7月はちょうど開花時期で、競うように咲いています。野生種はこれから9月ごろまで咲き続けますので、長く花を楽しんでいただけとができます。なお、鳴滝池公園にも植栽しております。また、野鳥公園には野生のキツバチが飛来するので、この季節は花粉症の方には要注意です。

ビワという名前が付いているがビワではなくイチジクの仲間。山地・丘陵では、よく見かけ、町中の公園のような場所では珍しい樹木。「イシガケチヨウ」という珍しいチヨウの食草です。南方系で、近年生息域を北へ広げているチヨウで、名張市内でも百合が丘のイヌビワに来るのが観察されています。このまま生息域が、広がってくれば、珍しいイシガケチヨウが観察できる可能

◆2 ウコギ科樹木4種同時観察
一種1種は、珍しくは、ありませんが、「コシアブラ」、「タカノツメ」・「ヤツデ」・「カクレミノ」の4種が、同時に観察できる場所として貴重。ウコギ科には、漢方薬「高麗人參（オタネニンジン）」などもあります。また新芽を食べることができます。多くの種があります（タラノキ、タカノツメ、コシアブラン、ウコギなど）。

はり料理で高か「りー」 生活習慣病予防料理教室



た。大きな川だけでなく、集落の小さな水路や池などにもホタルが生息しています。ところが新興住宅地では水路の改変などでホタルが見られるところが少なくなっています。しかし桔梗が丘住宅地内を流れれるシャツクリ川では、水路の両岸に土が堆積し、木立が茂り、ホタルの生育に適してきたこともあって、早くからゲンジボタルが復活しています。街中でゲンジホタルを見ることができるのは珍しく、貴重なところといえます。

株を孫藏池の傍の空き地に植栽しています。まだ株が小さく、今年咲くものがあるとはいえ、アサギマダラを呼ぶまでには至らないと考えています。来年は繁茂し咲き誇りますので多くのアサギマダラが飛んできてくれるものと思つております。植栽は、「桔梗が丘みどりの会」が中心になつて行つています。

健康推進部会の生活習慣予防料理教室の平成29年度第一回が、7月25日に市民センターで開講、男性4人を含む20人が受講した。調理の前に桔梗が丘まちの保健室のスタッフから、熱中症の予防を学んだ。のどが渴いてきたら熱中症、こまめに水分の補給を、患者の半数は高齢者などの説明に、熱心に耳を傾けていた。男性からビールは効果があるのかの質問にみんなが

この日の料理は夏の暑さを考慮してサッパリした韓国料